

血液がん「新たな治療と新たな課題」

日時：2014年6月29日(日) 12:40～17:00

会場：慶應義塾大学日吉校舎・協生館(藤原記念ホール)

3部から構成されるこの集いでは、多岐に渡る血液がん(造血器腫瘍)の治療と進歩、治療を支える支援体制とリソースについての現状と今後の課題を皆さんと共有し、血液がんのより良い医療について一緒に考えていきたいと思います。

第一部では、血液がんの病態と治療、新規薬剤の開発と承認、闘病のための支援体制などについての基礎知識を学んでいただきます。自分とは違う血液がんについても是非一緒に話を聞いてください。その概略を理解することは、あなた自身の病気をより深く知り、より良い治療選択をする上で、大いに役立つと思います。第二部では、各疾患でグループに分かれ、専門医を交えて皆さんの病気の治療の進歩を共有していきます。小児科分科会では、生涯にわたっての健康管理、成人病対策、内科への移行、二次がんへの注意など小児がん特有の課題についてとりあげます。「私と血液がん治療」の分科会は、より自分らしい闘病について、経験者やファシリテーターと共に本音を交えて語り合います。答えだけでなく、安心そして共感を持ち帰ってください。第三部では、血液がんの治療以上に大切な、包括的に闘病を支援する様々なアプローチの中から1つのテーマを選択し、血液がんのより良い医療体制について一緒に考えてみたいと思います。

当日は、どんなに個人的な問題でも構いませんから、尋ねたい事、ご意見を遠慮せず用紙に書いて出してください。専門家のアドバイスと共にそれを皆で共有し、闘病生活のヒントをたくさん掴んでいただき、この会が日頃の疑問や不安の「解決の1日」となることを願っています。

PROGRAM

総合司会 NPO 法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

12:40～13:30

I 全体会(1) — 血液がんの病態と治療、そしてその支援体制についての基本的な知識をもと

座長 中通総合病院 渡辺 新

講師 慶應義塾大学病院 岡本 真一郎

多岐に渡る血液がん(造血器腫瘍)がなぜ起こるのか、治療の目標をどのように設定するのか、目標達成のための治療法はどのように選択するのか、どのような選択肢(現状での治療と期待される新たな治療)があるのか、そして、闘病を支える支援体制の現状と課題についてわかり易くかつエンターテイニングに説明をします。

13:40～15:30

II 疾患別Q&A分科会 — 各分科会同時進行 —

※分科会司会は各疾患グループ代表等

| | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| ◎骨髄性腫瘍(骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病) | 講師 慶應義塾大学病院 森 毅彦 |
| ◎骨髄増殖性腫瘍(真性多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症等) | 講師 順天堂大学医学部附属順天堂医院 小松 則夫 |
| ◎リンパ性腫瘍I(急性および慢性リンパ性白血病、成人T細胞性白血病等) | 講師 慶應義塾大学病院 清水 隆之 |
| ◎多発性骨髄腫 | 講師 日本赤十字社医療センター 鈴木 憲史 |
| ◎慢性骨髄性白血病 | 講師 慶應義塾大学病院 岡本 真一郎 |
| ◎リンパ性腫瘍II(非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫等) | 講師 虎の門病院 伊豆津 宏二 |
| ◎私と血液がん治療～より良く過ごすために、語り合っって・分かち合っって | 講師 慶應義塾大学病院 近藤 咲子 |
| ◎小児血液がん～小児がん治療と生涯にわたる健康管理 | 講師 中通総合病院 渡辺 新 |

15:40～17:00

III 全体会(2) — 暮らしと血液がん

座長 慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎

司会 慶應義塾大学病院 近藤 咲子

全体会「暮らしと血液がん」では、これまでに在宅でのケアと継続治療、患者さん家族へのサポートなどをテーマとして取り上げてきました。血液がんと告知された時から患者さんは、自分の病気だけでなく、大事な身近な人々にどのように病気のことを伝えていけばいいのか悩みます。そこで、前回の全体会では、幼い子供たちに両親の病気をどのように伝え、その子供たちをどのように支援するかに焦点を当てました。今回は、継続してこの課題を取り上げ、慶應義塾大学病院における取り組みと事例を、参加者の方々とともに考え、将来のより良い支援に繋げていきたいと思います。

より良い血液がん治療の受け方～総合アドバイス

小松 則夫、鈴木 憲史、清水 隆之、伊豆津 宏二、渡辺 新

参加方法

お申し込みは **FAX** または **メール** お申込締め切り **6月20日(金)**

参加受け付けは5月20日からとなります。申し込みが間に合わなかった方は、6月23日以降お電話でご相談ください。

つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局 (JTBコミュニケーションズ)
FAX:0120-206-170(フリーダイヤル) E-mail:info@kujimu.jp

お名前(ふりがな)

(患者会に所属されている方は会の名称をお願いします。)

ご住所

〒

(部屋番号までご記入ください。)

ご連絡先

TEL :

FAX :

同伴者人数

人

車椅子ご利用者人数

人

参加希望分科会

分科会のご参加希望はおおよその人数把握のためです。代表申し込み者の現時点の希望のみでかまいませんので して下さい

骨髄性腫瘍

骨髄増殖性腫瘍

リンパ性腫瘍 I

多発性骨髄腫

慢性骨髄性白血病

リンパ性腫瘍 II

私と血液がん治療

小児血液がん

(ご希望に をお願いします)

直前のお申し込みで参加証の届いていない方は、当日直接受付までお越し下さい。

申し込みに関する問い合わせ

TEL : 0120-515-744 (フリーダイヤル)
(土日、祝日を除く 10:00-17:00)

今回ご提出頂きます個人情報につきましては、事務局の業務範囲内に限定し、第三者に提供することはありません。

※事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4以下の紙1枚に、下記の①～④を書いて送って下さい。(締め切りは6月25日(水)必着)

FAX送付の場合 つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局(JTBコミュニケーションズ) 0120-206-170(フリーダイヤル)

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留 NPO法人血液情報広場・つばさ 市民公開講座係

①病名 ②患者さんの性別と年齢

③ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。

④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)

ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

※寄せられた質問(ご相談)は、全体会・講演、疾患別分科会Q & Aなどで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのか」と迷われても是非送って下さい。案外たくさんの方が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。

また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

分科会司会進行役、開催広報等協力団体

NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター、慢性骨髄性白血病(CML)患者・家族連絡会「いずみの会」、日本骨髄腫患者の会、骨髄異形成症候群MDS連絡会、NPO法人ライフポート、院内患者会世話人連絡協議会(HosPAC)、NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、骨髄増殖性腫瘍患者・家族会(MPN-JAPAN)、GIST・肉腫患者と家族の会「GISTRES.net」、NPO法人 血液患者コミュニティ ももの木

協力企業・つばさ賛助企業

ヤンセンファーマ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、協和発酵キリン株式会社、中外製薬株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、株式会社ヤクルト本社、グラクソ・スミスクライン株式会社、ファイザー株式会社、大日本住友製薬株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、大塚製薬株式会社、富士フイルムRI株式会社、富士製薬工業株式会社、マーシュフィールド株式会社